

知って、考えて、体験して

10月6日(火)

車いす体験学習

【3年生】

3年生では、福祉について学ぶ学習の一環として、車いす体験学習を行いました。体験学習の前には、まず車いすについての調べ学習に取り組みました。車いすの種類や使い方、車いすを利用する人が困ることなどについて調べ、分かったことを一人ひとりが自分なりに工夫してノートにまとめました。

その後、クラスで調べたことを発表し合いました。「こんなことが分かったよ」と伝えたり、友だちの発表を聞いて質問したり、感じたことを話し合ったりする中で、車いすについての理解を深めました。

そして、いよいよ車いす体験です。葛城市社会福祉協議会の方に来ていただき、実際に車いすに乗ったり、介助したりする体験を通して、車いすを利用する人の気持ちや、周りの人の支えの大切さについて考えました。

「知る」だけでなく、「体験する」ことで、相手の立場になって考えることの大切さを実感した子どもたち。今回の学習を、これからの生活の中で、相手を思いやる行動につなげてほしいと思います。

